

ipaex-type1 パッケージ

=====

IPAex フォントを Type1 形式の Unicode サブフォントに変換したもの。

インストール

パッケージ内のファイルを次のように配置する。

- ‘tfm/*.tfm’ → \$TEXMF/fonts/tfm/public/ipaex-type1/
- ‘type1/*.pfb’ → \$TEXMF/fonts/type1/public/ipaex-type1/
- ‘ipaex-type1.map’ → \$TEXMF/fonts/map/dvips/ipaex-type1/
- ‘*.fd’, ‘*.fdx’ → \$TEXMF/tex/latex/ipaex-type1/

その後で updmap で ipaex-type1.map を有効化する。

```
updmap --enable Map ipaex-type1.map
```

(W32TeX では ‘updmap --add ipaex-type1.map’)

使用法

インストールが済むと、

- * OT1、T1、TS1 のエンコーディング
- * CJK パッケージの ‘UTF8’ エンコーディング (C70)

の各々について以下のファミリーが使えるようになる。

- * ‘ipxm’ : IPAex 明朝
- * ‘ipxg’ : IPAex ゴシック

欧文での使用例。

```

\documentclass{article}
\renewcommand{\rmdefault}{ipxm}
\renewcommand{\sfdefault}{ipxg}
\begin{document}
\textsf{Test}\quad Hello, {\TeX} world!
\end{document}

```

CJK パッケージでの使用例。

```

% 文字コードは UTF-8
\documentclass{article}
\usepackage{CJK}
\begin{document}
\begin{CJK*}{UTF8}{ipxm}
これは簡単なテスト文書です。
\end{CJK*}
\end{document}

```

ライセンス

「IPA フォントライセンス v1.0」が適用される。
(内容は LICENSE ファイルを参照。)

更新履歴

- * Version 0.3b [2013/10/11]
 - ドキュメント修正。
- * Version 0.3a [2013/05/18]
 - (試験的) 縦書きオフセットを設定。
- * Version 0.3 [2013/05/08]
 - (試験的) 縦書きに対応した。
- * Version 0.2a [2013/04/22]
 - 欧文エンコーディング (OT1/T1/TS1) の一部の TFM の空白量が

ゼロになっていたのを修正。

* Version 0.2 [2013/04/21]

- 最初の公開版。

Takayuki YATO (aka. "ZR")

<http://zrbabbler.sp.land.to/>